

# NETISシステム操作マニュアルについて

令和4年6月14日

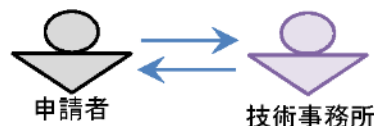
企画部 施工企画課  
九州技術事務所

## ◆NETIS改良を実施し、登録申請・活用効果調査表作成に関する事務を迅速化・省力化。

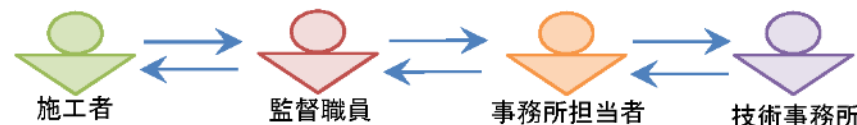
- 登録申請・活用効果調査に関する事務手続きを、NETIS上(オンライン)で完結できるようNETISを改良。
- 各作業に要する日数短縮・事務手続き軽減により、新技術活用を促進。
- R4.4からの運用開始を予定。運用後、デジタル化されたデータの利活用を進める。

### [従来方式]

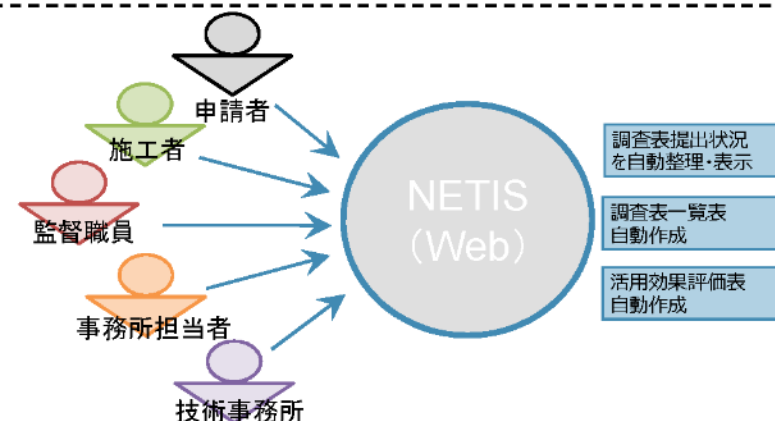
(登録申請)



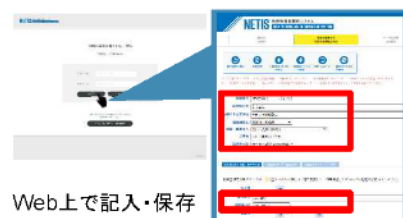
(活用効果調査)



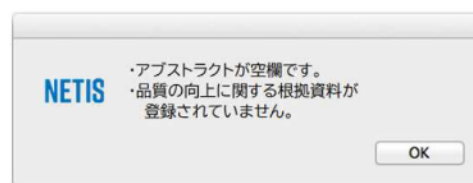
### [改良後]



- 様式に記入、メール等にて幾度もやりとり ---> ○ Web上で記入、次記載者に自動通知
- 入力すべき内容が分からない、修正多数 ---> ○ 入力アシスト機能(QAチャットボット、簡易な文章チェック)
- 調査表状況把握、集計、確認が困難 ---> ○ 不備、空欄等の自動確認機能
- 様式の簡素化、様式間重複記入箇所の自動転記
- 計画書、調査表の提出状況を自動的に表形式整理



Web上で記入・保存



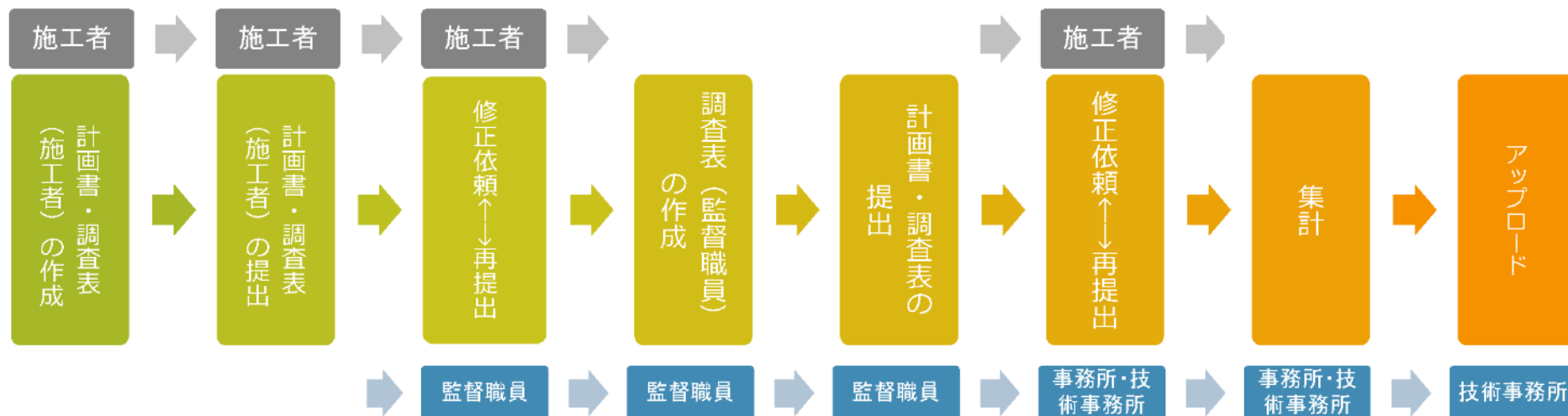
不備、空欄等を自動確認通知

| 工事 / 業務<br>の別 | 計画書の提出 | 調査表の提出<br>(発注者) | 調査表の提出<br>(施工者) | 調査表の種類 |
|---------------|--------|-----------------|-----------------|--------|
| ▼ / ▲         | ▼ / ▲  | ▼ / ▲           | ▼ / ▲           | ▼ / ▲  |
| 工事            | 提出     | 未提出             | 未提出             | 未評価    |
| 工事            | 提出     | 提出              | 提出              | 未評価    |
| 工事            | 提出     | 未提出             | 提出              | 未評価    |
| 工事            | 提出     | 提出              | 提出              | 未評価    |

提出状況(進捗状況)を自動整理

etc.

# 活用効果調査表作成 改良前と課題



施工者から  
みた課題

不慣れな者にとっては記載に迷う場合がある

発注・技術  
事務所から  
みた課題

提出が集中した場合は、調査表確認や集計管理が困難

修正依頼↕再提出には何人もの関係者を經由する必要がある、状況把握が困難

監督職員から  
みた課題

不慣れな者にとっては記載に迷う場合がある

未記入や誤記入に対しての確認・修正・再提出に手間と時間を要する

関係者共通  
の課題

関係者間の受け渡しファイルは、NETISに取り込まないと見ることが出来ない

確認・修正が不十分な場合、評価段階(数年後)になってから修正必要となる場合も

## オンライン申請機能

- ✓ 施工者・監督職員がWEB画面上で直接入力・登録
- ✓ 都度必要だった受け渡しデータ取り込み不要
- ✓ 次入力者に自動通知
- ✓ 全てデジタルデータとなり、様々な利活用の可能性

## 入力アシスト機能

- ✓ 未記入・未添付に注意喚起
- ✓ 評価点とコメントの不整合に注意喚起
- ✓ チャットボットにより、質問・自動回答  
etc.

## 提出状況管理機能

| 工事 / 業務<br>の別 | 計画書の提出 | 調査表の提出<br>(発注者) | 調査表の提出<br>(施工者) | 調査表の種別 |
|---------------|--------|-----------------|-----------------|--------|
| ▼ / ▲         |        | ▼ / ▲           | ▼ / ▲           | ▼ / ▲  |
| 工事            | 提出     | 未提出             | 未提出             | 未評価    |
| 工事            | 提出     | 提出              | 提出              | 未評価    |
| 工事            | 提出     | 未提出             | 提出              | 未評価    |
| 工事            | 提出     | 提出              | 提出              | 未評価    |

- ✓ ID・PW付与時点で管理表を自動作成
- ✓ 進行状況をリアルタイム表示

## 活用効果調査オンライン入力登録システムの構築

施工者及び監督職員がWEB画面上にて調査表（計画書含む）を入力し、直接登録できる機能を構築。

☞ 活用する工事名や発注機関等の必要情報の入力の上、事前に入力用のID/PW（監督職員用、施工者用）を入手する  
☞ 付与されたID/PWを入力すれば、当該技術活用工事の活用効果調査表オンライン入力登録システムが立ち上がる

☞ ID/PW入手時に入力した事前情報な、活用技術のNETIS申請情報をもとに、所定の情報は自動転記される

## 活用効果調査表記入内容のチェック機能の構築

未入力箇所や、評価内容の不整合箇所を注意喚起するチェック機能を構築。（技術事務所の内容確認作業を省略）

経済性

効果調査

| 従来技術より劣る |    | 同等 | 従来技術より優れる |    |
|----------|----|----|-----------|----|
| ○1       | ○2 | ○3 | ○4        | ○5 |

●当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内。

NETIS

コメントを入力して下さい。

OK

注意喚起イメージ

品質・出来形

効果調査

| 従来技術より劣る |    | 同等 | 従来技術より優れる |    |
|----------|----|----|-----------|----|
| ○1       | ○2 | ○3 | ○4        | ○5 |

コメント 全角1000文字以内。

NETIS

評価点と「優れていた点」、「劣っていた」チェック項目の整合が取れていません。

OK

注意喚起イメージ

優れていた点

- 品質が向上したため
- 出来形・精度が向上したため
- 耐久性が向上する構造になったため
- 品質・出来形の管理項目が減少したため
- 品質・出来形の管理精度が減少したため

劣っていた点

- 品質が低下したため
- 出来形・精度が低下したため
- 耐久性が劣る構造になったため
- 品質・出来形の管理項目が増加したため
- 品質・出来形の管理精度が増加したため

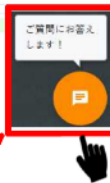
記入内容チェック機能イメージ

## チャットボット機能構築

申請時の質問にロボットが自動で回答する機能を構築。

The screenshot shows a web form for 'NETIS 新技術情報提供システム お問い合わせ' (NETIS New Technology Information Provision System Inquiry). The form has a header with the system name and 'Powered by ChatAI'. Below the header, there's a section for 'お問い合わせ' (Inquiry) with a text input field and a '送信' (Send) button. To the right of the input field, there's a chatbot interface with a speech bubble icon and a text input field. The chatbot interface is titled 'NETIS 新技術情報提供システム お問い合わせ' and 'Powered by ChatAI'. It shows a list of 'よくある質問' (Frequently Asked Questions) and a 'お問い合わせ' (Inquiry) section. The chatbot interface is designed to provide automated responses to common questions.

活用効果調査表入力時の質問に自動で回答するチャットボット機能を新設  
画面右下にチャットボット起動ボタンを配置



The screenshot shows the chatbot interface in detail. It has a header with 'NETIS 新技術情報提供システム お問い合わせ' and 'Powered by ChatAI'. Below the header, there's a section for 'お問い合わせ' (Inquiry) with a text input field and a '送信' (Send) button. To the right of the input field, there's a chatbot interface with a speech bubble icon and a text input field. The chatbot interface is titled 'NETIS 新技術情報提供システム お問い合わせ' and 'Powered by ChatAI'. It shows a list of 'よくある質問' (Frequently Asked Questions) and a 'お問い合わせ' (Inquiry) section. The chatbot interface is designed to provide automated responses to common questions. The interface includes a '途中で作業をやめたい' (I want to stop working in the middle) button and a '送信' (Send) button. The chatbot interface also shows a list of 'よくある質問' (Frequently Asked Questions) and a 'お問い合わせ' (Inquiry) section.

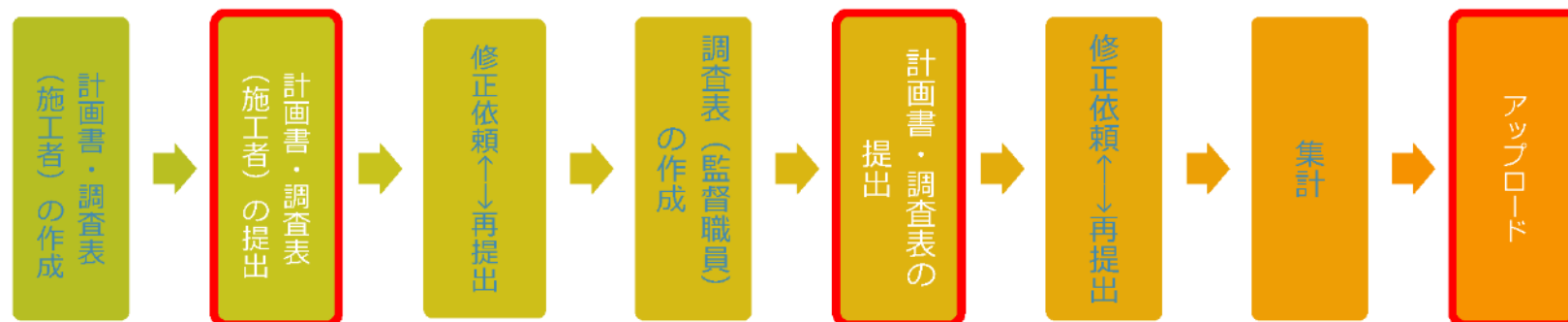
回答の精度をアンケート形式で収集  
蓄積したアンケート結果よりQAの質を高めていく

質問を記入、もしくは音声にて入力可能  
あらかじめ準備している質問からも選択することも可能

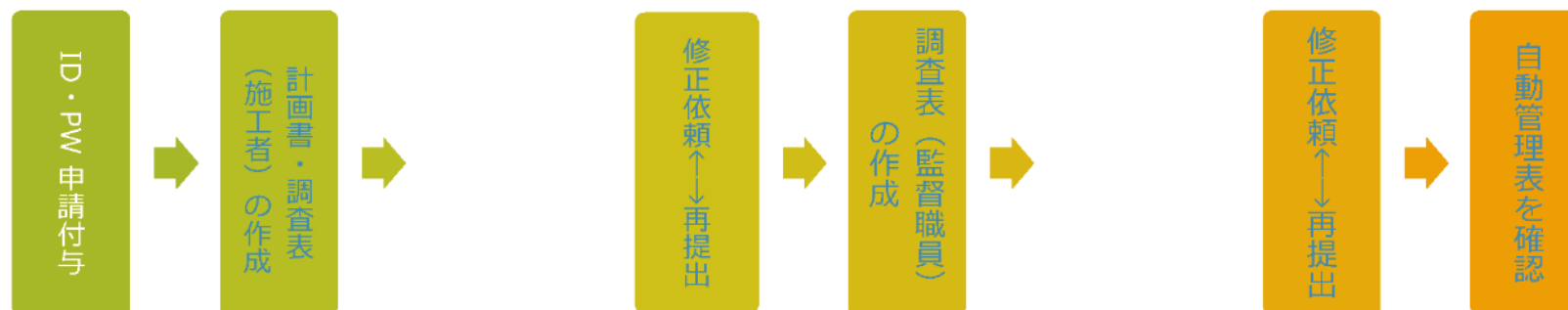
新設したチャットボット機能



◆従来フロー（作業項目） **赤枠**・・・改良によりシステム化 **青字**・・・改良により一部簡略化



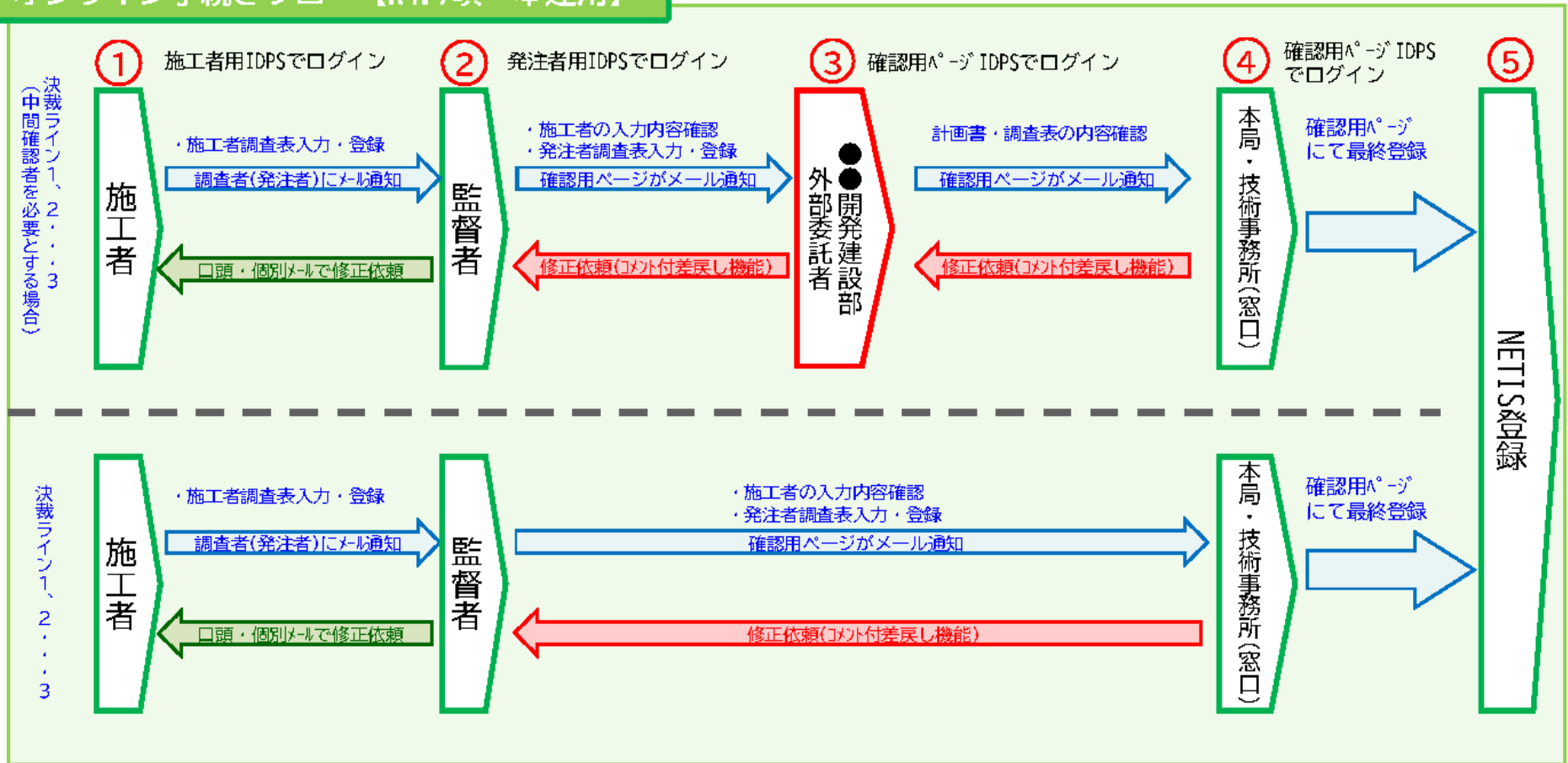
◆改良後フロー（作業項目）



- ✓ 作業の削減・簡略化により、全関係者の生産性を向上。(官側の集計作業に効果大)
- ✓ 技術の活用状況の早期把握や調査表の精度向上により、事後評価の早期実施や適切な評価の実施に寄与。
- ✓ 全てデジタルデータとなることで、様々なデータ利活用が可能となる。



## オンライン手続きフロー【R4.7頃～本運用】

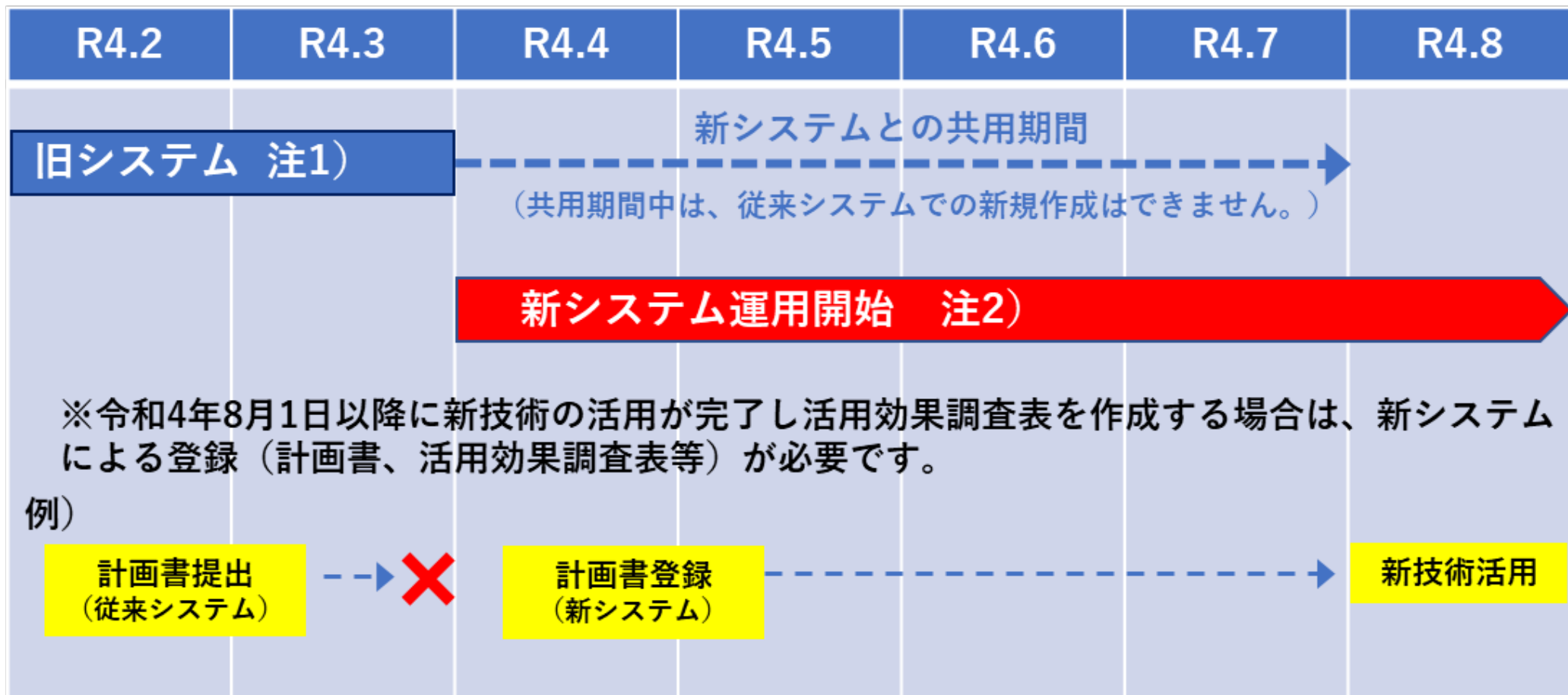


### 【R4.7～ 本運用】

- ①事務所監督員が調査表入力後、所定の処理。
- ②中間確認者（開発建設部、外部委託者）or最終確認者（本局、技術事務所）に確認用メールが自動通知。※地整の設定による。
- ③中間確認者は、確認用ページにIDPWログインし内容チェック（一次確認）。内容に問題なければシステムにて確認済登録。最終確認者へ自動通知。
- ④最終確認者で確認用ページにて内容確認後、システムに登録（最終確認）
- ⑤差し戻しは、確認用ページにて、各段階で可能。

- システムでの登録・通知
- システムでの差し戻し
- 個別メールなどの対応

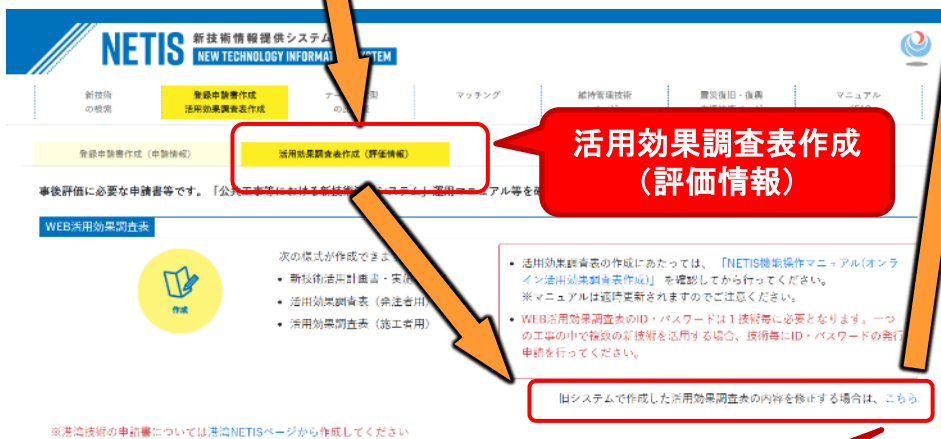
# NETISシステムの移行スケジュール



注1) 令和4年3月31日までに新技術活用が完了した工事等については、旧システムで作成・提出をお願いします。  
(旧システムは、令和4年7月31日迄で終了します。)

注2) 令和4年度以降に新技術活用が予定されている工事等については、新システムで作成・登録をお願いします。

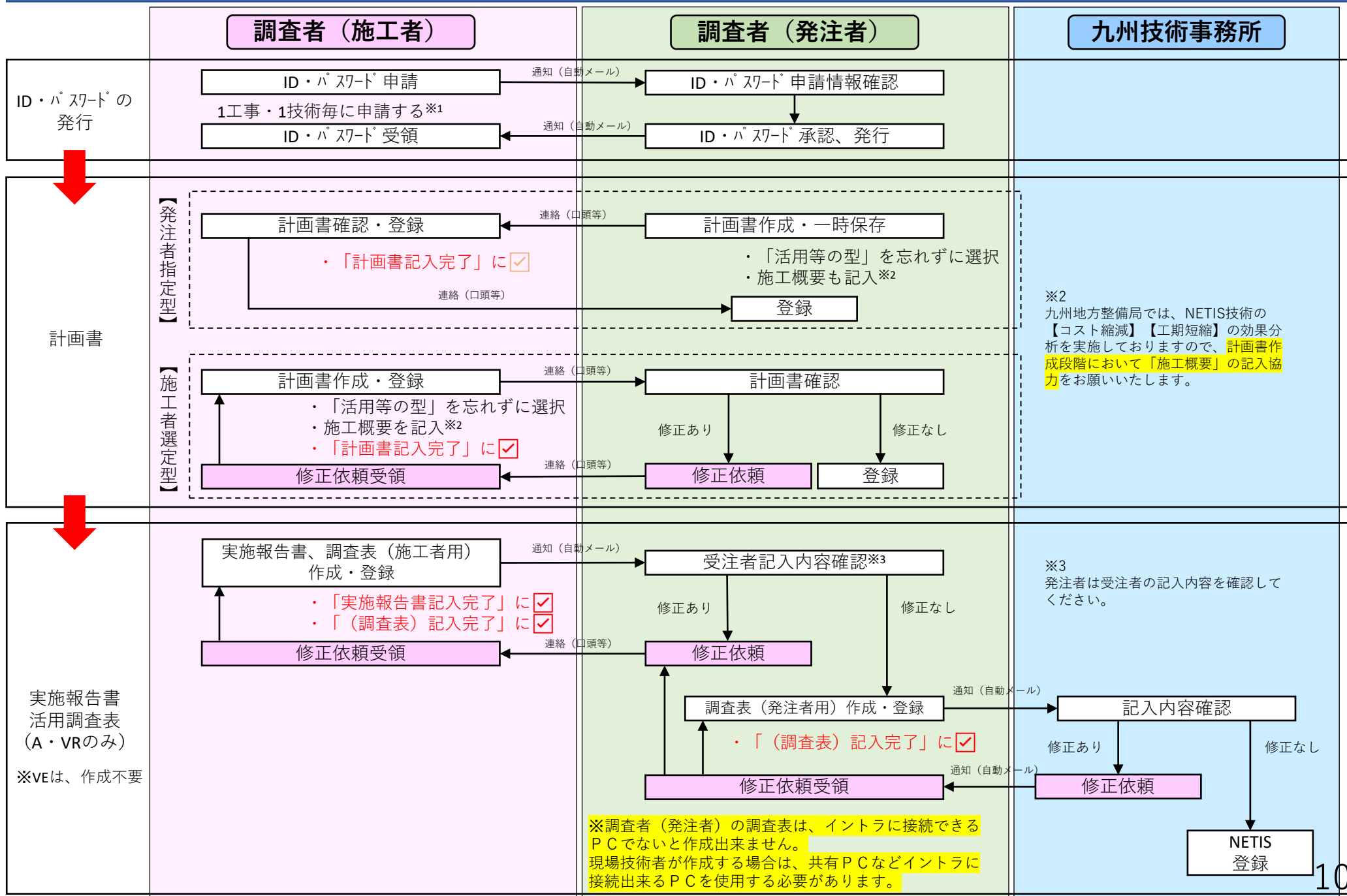
# 旧システムからの作成方法（ZIPファイル取込み）



こちら



# オンライン活用効果調査表作成の実施フロー



ID・パスワードは1工事・1技術毎に必要となります。

NETIS 新技術情報提供システム  
NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM

新技術の検索

登録申請書作成  
活用効果調査表作成

テーマ設定案  
の比較表

マッチング

維持管理技術  
ページ

震災復旧・復興  
支援技術ページ

マニュアル  
/FAQ

新技術を探す

検索キーワード

有用な新技術の選択

□ 推奨技術 □ 準推奨技術 □ 評価済み □ 活用促進技術

旧実施要領での技術の位置付け

□ 活用促進技術 (旧) □ 設計比較対象技術 □ 少実新優良技術

工程

新技術に期待する効果で更に絞り込む

□ 経済性の向上 □ 工期の短縮 □ 品質の向上 □ 安全性の向上

□ 施工性の向上 □ 周辺環境への影響抑制

この条件で検索

▼ 他... を表示

※ウェブチェックシートは、1つも選ばないと絞り込み(登録)できません。  
申請されている従来技術名の検索  
試行退場料金一覧  
過去に認定された推奨技術・準推奨技術の一覧

利用上の注意

What's NEW

2022年04月08日 □ 「緊急復旧要領の追加掲載技術に関する新技術」の技術...  
2022年03月18日 □ 「機受伸縮装置止水部の補修に関する技術」の技術認定...  
2022年02月03日 □ 「機受伸縮装置止水部の補修に関する技術」の技術公表...

CO<sub>2</sub>削減関連技術

脱炭素社会実現に向けたCO<sub>2</sub>削減に関連する技術は、[こちら](#)

NETISとは

NETISとは(紹介動画) ※音声は流れます  
公共工事等における新技術活用システム (パンフレット)

NETIS 新技術情報提供システム  
NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM

新技術の検索

登録申請書作成  
活用効果調査表作成

テーマ設定案  
の比較表

マッチング

維持管理技術  
ページ

震災復旧・復興  
支援技術ページ

マニュアル  
/FAQ

登録申請書作成 (申請情報)

活用効果調査表作成 (評価情報)

事後評価に必要な申請書です。「公共工事等における新技術活用システム」運用マニュアル等を参照してください。

WEB活用効果調査表

活用効果調査表 (作成)

活用効果調査表の作成にあたっては、「NETIS機能操作マニュアル(オンライン活用効果調査表作成)」を参照してから行ってください。  
※マニュアルは随時更新されますのでご注意ください。

活用効果調査表 (施工専用)

活用効果調査表のID・パスワードは1技術毎に必要となります。一つの工事の中で複数の新技術を応用する場合、技術毎にID・パスワードの発行申請を行ってください。

旧システムで作成した活用効果調査表の内容を修正する場合は、[こちら](#)

※旧技術の申請書に活用効果調査表を提出する場合は、活用効果調査表を提出してください。

作成

作成したい活用効果調査表のNETIS番号を入力。  
※NETIS番号は、情報種別記号 (-A、-VE等) を除く形で入力。  
(例: KT-123456)

NETIS番号を入力

検索

活用効果調査表の作成・登録

対象技術

対象技術名

ログインID

パスワード

ログイン

キャンセル

ログインID/パスワードをお持ちでない方は[こちら](#)より  
新規登録をお願いします。

ログインID/パスワードを新規登録

ログインID/PW新規登録フォーム

活用効果調査表の作成・登録に必要なログインID/パスワードを新規発行します。  
以下の内容を入力の上送信してください。

新技術を作成する技術者のNETIS番号

氏名

組織機関名

部署・事業所名

工事名/業種名

コординатор/テクニカル

調査者 (施工者) 氏名

調査者 (施工者) メールアドレス

監督者氏名

監督者メールアドレス

申請

キャンセル



## 新技術活用計画書作成における留意事項

**NETIS** 新技術情報提供システム  
NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM

新技術の検索 | 登録申請書作成  
活用効果調査表作成 | サービス窓口の比較表 | マッチング | 長時間利用説明ページ | 募集要項・受審者支援情報ページ | ユーザーマニュアル / FAQ

ログインID / パスワード入力欄

120分でタイムアウトします。作成の途中、一時保存を行ってください。一時保存は画面下部のメニュー「一時保存」から行えます。  
・登録内容に関するお問い合わせはこちら  
・システム操作方法に際すお申し込みはこちら

登録番号 [ ] - [ ]  
新技術名称 [ ]  
比較する従来技術 [ ]  
組織機関名 [ ]  
部署・事業所名 [ ]  
工事名 [ ]  
活用等の型 [ ]

自動で入力されます

「活用等の型」を選択してください

新技術品目別検索 | 実施報告書 | 活用効果調査表 (施工工種)

☐ 計画書記入完了済 (※計画書記入時) 計書の記入が完了しました。チェックを入れて下さい。  
(※新規技術利用案内参照：図や盛り込むべき項目を「体系図」→「記入確認」参照)

☐ 実施報告書記入完了済 (※実施報告書記入時) 計書の記入が完了しました。チェックを入れて下さい。  
(※実施報告書記入：①の通り入力し、②「施工要領」→「作業要領」)

作成日 [ ] 日  
受注者名 [ ]  
契約額(円) [ ]  
工事期間 [ ] ~ [ ] 日  
新技術施工期間 [ ] ~ [ ] 日  
施工場所 [ ]

ポイント

-VE 技術は、実施報告書が不  
「実施報告書記入完了」のチェッ

計画書の全ての項目の記入が完了  
「計画書記入完了」にチェック

実施報告書の全ての項目の記入が  
「実施報告書記入完了」にチェッ

工事全体の内容を記入してください。

照会チェック 凡例：チェック対象文字、緑字無視  
結果・照会チェックの結果をここに表示します  
対象数量 全量127文字以内

新技術の対象数量を記入してください。  
(NETIS申請情報の「活用効果の根拠」を参考に単位等を合わせてください。)

照会チェック 凡例：チェック対象文字、緑字無視  
結果・照会チェックの結果をここに表示します

※九州地方整備局では、NETIS技術の【コスト縮減】【工期短縮】の効果分析を実施しておりますので、計画書作成段階において「施工概要」の記入協力をお願いいたします。

新技術使用箇所 登録した文章以内。

凡例：[読字チェック対象文字](#)、[修正候補](#)

読字・読字チェックの結果をここに表示します

施工（活用）概要資料 ※活用概要データを添付してください。

ファイルをドラッグ&ドロップしてください。または

[ファイルを選択](#) | 選択されていません

添付ファイルは200KBまでのものとしてください。

現場施工条件 全登録1000文字以内。

●現場条件

●周辺状況（病院、学校、駅等の有無等）

●自然環境（騒音、振動、水質等）

凡例：[読字チェック対象文字](#)、[修正候補](#)

[読字・読字チェックの結果をここに表示します](#)

凡例：[読字チェック対象文字](#)、[修正候補](#)

[読字・読字チェックの結果をここに表示します](#)

凡例：[読字チェック対象文字](#)、[修正候補](#)

[読字・読字チェックの結果をここに表示します](#)

障害 施工上で重大な障害や問題が生じましたか。

☐ 無 ☐ 有

障害の内容 自由記入(文字制限あり)

凡例：[読字チェック対象文字](#)、[修正候補](#)

読字・読字チェックの結果をここに表示します

作業環境 ☐ 地上作業 ☐ 水中作業 ☐ 地下作業 ☐ 水中作業 ☐ 高所作業

活用理由 活用目的やメリットにチェックがない場合は、入力されたコメントは利用しないが登録される。活用目的やメリットにチェックがある場合は、コメント欄への入力が必要。

☐ 経済性

☐ 工期

☐ 品質・出来形

☐ 安全性

☐ 施工性

☐ 環境

☐ その他（）

☐ その他（）

従来技術と比べ  
を記入してください

計画書作成段階で、  
施工概要の全ての項目を記入してください。※

従来技術と比べて、向上する活用理由  
を記入してください。

# 新技術活用調査表作成における留意事項（1/2）

新技術活用調査表（新技術活用） 新技術活用調査表（新技術活用）

## 記入事項

1. 全ての調査項目について調査を行ってください。  
ただし、記入者が評価に困難な項目は「当該技術に関連しない項目である」にチェックして下さい。  
その場合は、当該調査項目の理由を必ず記入して下さい。

2. 調査項目毎に評価値を5段階で入力して下さい（チェックの項目は下表の通り）。

| 大幅に劣る | 劣る | 同等 | 優れる | 大幅に優れる |
|-------|----|----|-----|--------|
| 1     | 2  | 3  | 4   | 5      |

### 【コメント】

記入した理由が、調査項目に対して「優れる」か「同等」か「劣る」かを判断して下さい。必要に応じて、具体的な理由を記入して下さい。記入した理由が、調査項目に対して「劣る」か「同等」か「劣る」かを判断して下さい。必要に応じて、具体的な理由を記入して下さい。

3. 調査項目の理由が必要な場合はその他（自由記入）欄に記入して下さい。

4. 調査項目毎に「使っていた」「使っていたが」「使っていなかった」を5段階で入力して下さい（複数チェックすることも可能です）。  
チェックを入れた場合はその理由をコメント欄に記入して下さい。また、チェックを入れた場合については、その理由をコメント欄に記入して下さい。

5. コメント欄には、必要理由を必ず記入して下さい。  
また、当式は新技術活用調査表（新技術活用）の記入が完了したら、チェックをお願いします。  
記入内容は、当式調査の理由やその他の理由でチェックした内容が必要項目を必ず記入して下さい。  
必要に応じて定量的なコメントをお願いします。

□ 記入完了 □ 記入完了（新技術活用）の記入が完了したら、チェックをお願いします。

会社名(所属)

記入者氏名

連絡先 (TEL)

経済性

効果調査

| 効果調査より劣る | 同等 | 効果調査より優れる |    |    |
|----------|----|-----------|----|----|
| ○1       | ○2 | ○3        | ○4 | ○5 |

※当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

結果・効果チェック 凡例：チェック対象文字 修正候補

結果・効果チェックの結果をここに表示します

工程

効果調査

| 効果調査より劣る | 同等 | 効果調査より優れる |    |    |
|----------|----|-----------|----|----|
| ○1       | ○2 | ○3        | ○4 | ○5 |

※当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

結果・効果チェック 凡例：チェック対象文字 修正候補

結果・効果チェックの結果をここに表示します

左記のチェックの目安を参考に定性的5段階評価をお願いします。

調査表の全ての項目の記入が完了したら、「記入完了」にチェックしてください。

## 【経済性の評価】

・定性的5段階評価をお願いします。

・コメントは必ず記入してください。（「当該技術に関連しない項目である」場合もその理由をコメントしてください。）

## 【工程の評価】

・定性的5段階評価をお願いします。

・コメントは必ず記入してください。（「当該技術に関連しない項目である」場合もその理由をコメントしてください。）

品質・出来形

効果調査

| 効果調査より劣る | 同等 | 効果調査より優れる |    |    |
|----------|----|-----------|----|----|
| ○1       | ○2 | ○3        | ○4 | ○5 |

※当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

結果・効果チェック 凡例：チェック対象文字 修正候補

結果・効果チェックの結果をここに表示します

安全性

効果調査

| 効果調査より劣る | 同等 | 効果調査より優れる |    |    |
|----------|----|-----------|----|----|
| ○1       | ○2 | ○3        | ○4 | ○5 |

※当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

結果・効果チェック 凡例：チェック対象文字 修正候補

結果・効果チェックの結果をここに表示します

施工性

効果調査

| 効果調査より劣る | 同等 | 効果調査より優れる |    |    |
|----------|----|-----------|----|----|
| ○1       | ○2 | ○3        | ○4 | ○5 |

※当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

結果・効果チェック 凡例：チェック対象文字 修正候補

結果・効果チェックの結果をここに表示します

## 【品質・出来形の評価】

・定性的5段階評価をお願いします。

・コメントは必ず記入してください。（「当該技術に関連しない項目である」場合もその理由をコメントしてください。）

## 【安全性の評価】

・定性的5段階評価をお願いします。

・コメントは必ず記入してください。（「当該技術に関連しない項目である」場合もその理由をコメントしてください。）

## 【施工性の評価】

・定性的5段階評価をお願いします。

・コメントは必ず記入してください。（「当該技術に関連しない項目である」場合もその理由をコメントしてください。）



# 新技術活用調査表作成における留意事項（2/2）

**環境**

**効果調査**

| 効果期待より出る | 同等 | 効果期待より得れる |
|----------|----|-----------|
| ○1       | ○2 | ○3        |
| ○4       | ○5 |           |

※当該技術に関連しない項目である

コメント 全角100文字以内

記入チェック 凡例：チェック対象文字、修正候補

記入・記入チェックの結果をここに表示します

上記項目の他に留意事項がある場合は本項目にて評価を行って下さい。褒れていた点、劣っていた点はコメント欄へ具体的に記載して下さい。

**その他**

タイトル 全角20文字以内

**効果調査**

| 効果期待より出る | 同等 | 効果期待より得れる |
|----------|----|-----------|
| 1        | 2  | 3         |
| 4        | 5  |           |

※当該技術に関連しない項目である

コメント 全角100文字以内

記入チェック 凡例：チェック対象文字、修正候補

記入・記入チェックの結果をここに表示します

**その他**

タイトル 全角20文字以内

**効果調査**

| 効果期待より出る | 同等 | 効果期待より得れる |
|----------|----|-----------|
| 1        | 2  | 3         |
| 4        | 5  |           |

※当該技術に関連しない項目である

コメント 全角100文字以内

記入チェック 凡例：チェック対象文字、修正候補

記入・記入チェックの結果をここに表示します

## 【環境の評価】

・定性的5段階評価をお願いします。

・コメントは必ず記入してください。（「当該技術に関連しない項目である」場合もその理由をコメントしてください。）

## 【その他】

前述の6項目以外で新たな「調査項目」が必要と記入者が判断した場合は、その他の項目に記入してください

**総合的所見**

NETIS掲載情報の『期待される効果』に対して、活用した結果はどうでしたか

褒れていた所 全角100文字以内

劣っていた所 全角100文字以内

記入チェック 凡例：チェック対象文字、修正候補

記入・記入チェックの結果をここに表示します

留保する所 全角100文字以内

記入チェック 凡例：チェック対象文字、修正候補

記入・記入チェックの結果をここに表示します

当部署ではNETIS掲載情報の「比較する従来技術」は適切でしたか

○適切であった ○適切でなかった

適切でなかった場合、どんな従来技術と比較したらいかが、従来技術名を記入して下さい 全角100文字以内

今後、当該技術を活用できる工事の場合に活用しますか

○今後は是非活用したい ○活用を検討したい ○機会によっては活用することもある ○技術の改良を強く望む

理由 全角100文字以内

記入チェック 凡例：チェック対象文字、修正候補

記入・記入チェックの結果をここに表示します

当該技術について改良点・要望・その他ご意見ありましたら自由に記入して下さい 全角100文字以内

記入チェック 凡例：チェック対象文字、修正候補

記入・記入チェックの結果をここに表示します

## 【総合的所見】

・コメントは必ず記入してください。

**施工状況等の写真** ※写真ファイルは、サイズ300×200画素の64形式または1616形式の画像ファイルを選択してください。

写真1

写真をアップロードしてください

写真2

写真をアップロードしてください

写真3

写真をアップロードしてください

写真のタイトルを記入してください。

## 【施工状況等の写真】

新技術に活用状況が分かる写真（施工状況、使用材料、計測状況、完了等）を添付してください。

# I :『調査項目の効果調査が「1」～「5」』のコメント事例

**経済性**

効果調査

| 従来技術より劣る |     | 同等  | 従来技術より優れる |                                    |
|----------|-----|-----|-----------|------------------------------------|
| ○ 1      | ○ 2 | ○ 3 | ○ 4       | <input checked="" type="radio"/> 5 |

○ 当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内。

経済性は、ベースマシンがバックホウタイプで小型であることから、機械経費・人件費が安価となり、仮設足場材(敷鉄板)に要する費用が減少し、施工日数が短縮できたという理由で非常に優れている。

(全体的に優れている点をコメント)

優れていた点

- ☒ 機械経費・製品単価・補助材料費が減少したため
- ☒ 作業人員が減少したため
- ☒ 仮設費が減少したため
- ☒ 施工日数が短縮したため
- ☐ 施工量が想定数量より多かったため
- ☐ 維持管理費の減少が見込まれるため

劣っていた点

- ☐ 機械経費・製品単価・補助材料費が増加したため
- ☐ 作業人員が増加したため
- ☐ 仮設費が増加したため
- ☐ 施工日数が延長したため
- ☐ 施工量が想定数量より少なかったため
- ☐ 維持管理費の増加が見込まれるため

優れた点が多く評価が「5」の例

**工程**

効果調査

| 従来技術より劣る |     | 同等  | 従来技術より優れる |                                    |
|----------|-----|-----|-----------|------------------------------------|
| ○ 1      | ○ 2 | ○ 3 | ○ 4       | <input checked="" type="radio"/> 5 |

○ 当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内。

工程は、地盤改良に要する日数が、当初8日間を予定していた日程が4日間(1/2)になり、施工日数を短縮できるという理由でひじょうに優れていた。

(1項目がいかに優れていたかを具体的にコメント)

優れていた点

- ☒ 施工日数が短縮したため
- ☐ 工程計画が組みやすかったため
- ☐ 予定工程どおりに進捗したため
- ☐ 施工性が向上したため
- ☐ 仮設が減少したため
- ☐ 維持管理にかかる日数の減少が見込まれるため

劣っていた点

- ☐ 施工日数が延長したため
- ☐ 工程計画が組みづかったため
- ☐ 予定工程より遅れたため
- ☐ 施工性が劣ったため
- ☐ 仮設が増加したため
- ☐ 維持管理にかかる日数の増加が見込まれるため

優れた点は1項目だが評価が「5」の例

## I :『調査項目の効果調査が「1」～「5」』のコメント事例

・コメントは、評価に至った理由である ..... を具体的に記入し、文末は、下記の文例を参考にして下さい。

### 効果調査が「5」の場合

経済性  
工程  
品質・出来形  
安全性  
施工性  
環境

は、

.....

という理由で

非常に優れている。  
極めて向上した。  
大幅に〇〇を削減できた。  
特に〇〇が高い。  
〇〇及び△△が非常に減少した。  
〇〇が大幅に減少した。

### 効果調査が「4」の場合

経済性  
工程  
品質・出来形  
安全性  
施工性  
環境

は、

.....

という理由で

優れている。  
向上した。  
やや優れている。  
少し向上した。  
僅かに〇〇を削減できた。  
〇〇がやや減少した。

### 効果調査が「3(同等)」の場合

経済性  
工程  
品質・出来形  
安全性  
施工性  
環境

は、

.....

という理由で

同程度である。  
変わらない。  
ほぼ同等と考える。  
影響が無かった。  
問題はない。  
大差はない。

## I :『調査項目の効果調査が「1」～「5」』のコメント事例

・コメントは、評価に至った理由である ..... を具体的に記入し、文末は、下記の文例を参考にして下さい。

### 効果調査が「2」の場合

経済性  
工程  
品質・出来形  
安全性  
施工性  
環境

は、

.....

という理由で

劣る。  
低下した。  
やや劣る。  
少し低下した。  
僅かに〇〇が増加した。  
〇〇がやや増加した。

### 効果調査が「1」の場合

経済性  
工程  
品質・出来形  
安全性  
施工性  
環境

は、

.....

という理由で

非常に劣る。  
極めて低下した。  
大幅に〇〇が増加した。  
特に〇〇が低い。  
〇〇及び△△が非常に増加した。  
〇〇が大幅に増加した。

## Ⅱ:『調査項目のコメント』を特に重視すべき具体的な事例

以下のような事例では、**修正依頼**や**ヒアリング**をお願いする場合があります。

◆調査の視点では、(優れていた点:2)>(劣っていた点:1)であるが、効果調査は「2」でありコメントもマイナス評価となっている。

経済性

効果調査

| 従来技術より劣る | 同等  | 従来技術より優れる |
|----------|-----|-----------|
| ○ 1      | ○ 2 | ○ 3       |
| ○ 4      | ○ 5 |           |

○ 当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

「2」

2箇所

機械経費が高いため経済性は劣る。(×)

より具体的に

1箇所

優れていた点

- ☐ 機械経費・製品単価・補助材料費が減少したため
- ☒ 作業人員が減少したため
- ☒ 仮設費が減少したため
- ☒ 施工日数が短縮したため
- ☐ 施工量が想定数量より多かったため
- ☐ 維持管理費の減少が見込まれるため

劣っていた点

- ☒ 機械経費・製品単価・補助材料費が増加したため
- ☐ 作業人員が増加したため
- ☐ 仮設費が増加したため
- ☐ 施工日数が延長したため
- ☐ 施工量が想定数量より少なかったため
- ☐ 維持管理費の増加が見込まれるため

例: 作業人員と施工日数は削減できたものの、機械経費が非常に高くなったため、総合的には従来技術と比較して、経済性は劣る。(○)

コメントが簡素であるために、調査の視点の重みが判断できません。より具体的なコメントをお願いします。

◆調査の視点では、優れていた点に多く(4箇所)のチェックが付いているが、効果調査は「4」となっている

施工性

効果調査

| 従来技術より劣る | 同等  | 従来技術より優れる |
|----------|-----|-----------|
| ○ 1      | ○ 2 | ○ 3       |
| ○ 4      | ○ 5 |           |

○ 当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

「4」

4箇所

施工性は向上している。(×)

より具体的に

優れていた点

- ☒ 現場での施工が減少したため
- ☒ 仮設工が減少したため
- ☒ 作業員の作業が容易になったため
- ☐ 貯蔵庫に依存した作業が減少したため
- ☒ 施工の機械化が向上したため
- ☐ 施工時の制約条件が減少したため

劣っていた点

- ☐ 現場での施工が増加したため
- ☐ 仮設工が増加したため
- ☐ 作業員の手間が増えたため
- ☐ 貯蔵庫に依存した作業が増加したため
- ☐ 施工の機械化が低下したため
- ☐ 施工時の制約条件が増加したため

例: 仮設の減少により現場での施工が減少し、さらに機械化により作業員の作業が容易になったことから、従来技術と比較して施工性はやや優れている。(○)

多くの項目で優れているが、それぞれの項目の重みは僅かであるために、総合的には「4」となったことが伝わるようなコメントをお願いします。

## Ⅱ:『調査項目のコメント』を特に重視すべき具体的な事例

以下のような事例では、**修正依頼**や**ヒアリング**をお願いする場合があります。

◆調査の視点では、優れていた点のチェックが1箇所であるが、効果調査は「5」となっている

工程

| 効果調査                    |                         | 優れていた点                  |                                    |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------------------|
| 効果技術より劣る                | 同等                      | 効果技術より優れる               |                                    |
| <input type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input checked="" type="radio"/> 4 |
| <input type="radio"/> 5 |                         |                         |                                    |

○当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

「5」

1箇所

優れていた点

- ☒ 施工日数が短縮したため
- ☐ 工程計画が組みやすかったため
- ☐ 予定工程どおりに進捗したため
- ☐ 施工性が向上したため
- ☐ 仮設が減少したため
- ☐ 維持管理にかかる日数の減少が見込まれるため

劣っていた点

- ☐ 施工日数が延長したため
- ☐ 工程計画が組みづらかったため
- ☐ 予定工程どおりに進捗しなかったため
- ☐ 施工性が劣るため
- ☐ 仮設が増加したため
- ☐ 維持管理にかかる日数の増加が見込まれるため

施工日数が短縮し工程に優れる。(×)

より具体的に

例: 工程は、地盤改良に要する日数が、当初8日間予定していた日程が4日間(1/2)になり、施工日数を短縮できるという理由で非常に優れていた。(○)

優れていた点が一つで、効果調査が「5」となった具体的なコメントをお願いします。

◆調査の視点では、劣っていた点のチェックが1箇所であるが、効果調査は「1」となっている

品質・出来形

| 効果調査                               |                         | 優れていた点                  |                         |
|------------------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 効果技術より劣る                           | 同等                      | 効果技術より優れる               |                         |
| <input checked="" type="radio"/> 1 | <input type="radio"/> 2 | <input type="radio"/> 3 | <input type="radio"/> 4 |
|                                    |                         |                         | <input type="radio"/> 5 |

○当該技術に関連しない項目である

コメント

「1」

1箇所

優れていた点

- ☐ 品質が向上したため
- ☐ 出来形・精度が向上したため
- ☐ 耐久性が向上する構造になったため
- ☐ 品質・出来形の管理項目が減少したため
- ☐ 品質・出来形の管理頻度が減少したため

劣っていた点

- ☒ 品質が低下したため
- ☐ 出来形・精度が低下したため
- ☐ 耐久性が劣る構造になったため
- ☐ 品質・出来形の管理項目が増加したため
- ☐ 品質・出来形の管理頻度が増加したため

品質が低下した。(×)

より具体的に

例: 現場打ちコンクリートであり、管理項目・頻度が増加し、施工不良等による品質の低下が懸念されたため、品質・出来形に非常に劣っていた。(○)

劣っていた点が一つで効果調査が「1」となった具体的なコメントをお願いします。



### Ⅲ:『調査項目の効果調査が「当該技術に関連しない」』のコメント事例

以下のような事例では、**修正依頼**や**ヒアリング**をお願いする場合があります。

◆「当該技術に関連しない評価項目である」にチェックがあるが、そのコメントが未記入となっている。

工程

| 従来技術より劣る | 同等  | 従来技術より優れる |
|----------|-----|-----------|
| ○ 1      | ○ 3 | ○ 4 ○ 5   |

● 当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内。

「当該技術に関連しない評価項目である」

関係しない評価項目である理由を具体的に

優れていた点

- 施工日数が短縮したため
- 工程計画が組みやすかったため
- 仮設が減少したため
- 維持管理にかかる日数の減少が見込まれるため

劣っていた点

- 施工日数が延長したため
- 工程計画が組みやすかったため
- 予定工程どおりに進捗しなかったため
- 施工性が劣るため
- 仮設が増加したため
- 維持管理にかかる日数の増加が見込まれるため

コメントが未記入であるために、関連しない評価項目である理由がわかりません。関連しない理由の具体的なコメントをお願いします。

例: 現場における施工日数に影響を及ぼさないという理由で関連しない評価項目である。

環境

| 従来技術より劣る | 同等  | 従来技術より優れる |
|----------|-----|-----------|
| ○ 1 ○ 2  | ○ 3 | ○ 4 ○ 5   |

● 当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内。

「当該技術に関連しない評価項目である」

関係しない評価項目である理由を具体的に

優れていた点

- 周辺環境への影響(大気・土壌・水質汚染)が減少したため
- 騒音・振動・粉塵等作業環境が低減したため
- 省エネルギー・省資源化が向上したため
- リサイクル性が向上したため

劣っていた点

- 周辺環境への影響(大気・土壌・水質汚染)が悪化したため
- 騒音・振動・粉塵等作業環境が悪化したため
- 周辺の自然・生態環境・景観との調和が低下したため
- 産業廃棄物の発生量が増加したため(リサイクル性が低下したため)
- 省エネルギー・省資源が低下したため

コメントが未記入であるために、関連しない評価項目である理由がわかりません。関連しない理由の具体的なコメントをお願いします。

例: 材質自体環境に影響するものではなく、施工についても騒音・振動等は発生しない為。

## Ⅳ:『今後、当該技術を活用できる工事の場合に活用しますか。』の理由事例

理由を必ず記入してください。

◆「今後も是非活用したい」にチェックがあるが、その理由が未記入となっている。

今後、当該技術を活用できる工事の場合に活用しますか

☒ 今後も是非活用したい   ☐ 活用を検討したい   ☐ 場合によっては活用することもある   ☐ 技術の改良を強く望む

理由 全角127文字以内。

理由が未記入

例：大幅な工期短縮が図れたため今後も是非活用したい。

「今後も是非活用したい」理由を必ず記入してください。

◆「技術の改良を強く望む」にチェックがあるが、その理由が未記入となっている。

今後、当該技術を活用できる工事の場合に活用しますか

☐ 今後も是非活用したい   ☐ 活用を検討したい   ☐ 場合によっては活用することもある   ☒ 技術の改良を強く望む

理由 全角127文字以内。

理由が未記入

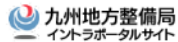
例：当該現場は、施工ヤードが狭く、機械の使用が困難で施工性が低下するため、コンパクトな機械仕様への技術の改良を強く望む。

「技術の改良を強く望む」理由を必ず記入してください。

## V:『調査項目の効果調査が「当該技術に関連しない」』のコメント事例

| 効果調査が「当該技術に関連しない評価項目」の場合                                       |  |
|----------------------------------------------------------------|--|
| 経済性 【コメント】                                                     |  |
| 材料費が高価で鉄筋への装着労務が必要となるなど直接的な費用は増加しているが、仕上り後の補修費の有無に対する比較は困難である。 |  |
| 今回、施工対象面積が小さく、従来技術との比較において対象としない。                              |  |
| 工程 【コメント】                                                      |  |
| 現場における施工性や施工日数に影響を及ぼさないという理由で関連しない評価項目である。                     |  |
| 工程は、施工日数に影響を及ぼさないという理由で関連しない評価項目である。                           |  |
| 今回、施工面積が小さく、従来技術との比較において対象としない。                                |  |
| 工程は調査の視点に該当がない。                                                |  |
| 工程は、システムの性質上関係しない。                                             |  |
| 工程に影響する技術ではないため評価できない。                                         |  |
| 品質・出来形 【コメント】                                                  |  |
| 丁張り杭の品質・出来形に影響を及ぼさないという理由で関連しない評価項目である。                        |  |
| 品質・出来形は該当しない評価項目である。                                           |  |
| 補修材であり舗装工の品質・出来形に影響を及ぼさないという理由で関連しない評価項目である。                   |  |
| 品質・出来形は調査の視点に該当がない。                                            |  |
| 品質・出来形は、コンクリート構造物の弱点となりやすい打ち継ぎ目の強度低下を防ぐものであるが、今回の施工での確認はできない。  |  |
| 今回、新技術は、現況トンネルの形状把握で用いた為、品質・出来形に関連しない評価項目である。                  |  |
| 機材の形態上、当該技術に関連しない評価項目である。                                      |  |

# ◆NETISシステム操作マニュアル（イントラ 内部向け）◆



[ホーム](#)
[業務システム](#)
[業務支援](#)
[各部からの情報](#)
[建設行政WA](#)

## トピックス



2018.05.12 八代港新コンテナターミナル供用式典

## 国・地方の動き

[大臣会見](#)

[局長メッセージ](#)

[九州地方整備局事業概要](#)

[九州地方整備局予算概要](#)

[九州地方整備局内ホームページ](#)

[個人設定リンク](#)

[登録なし](#)

## 新着情報

05月01日
九州地方整備局インフラポータルサイトをリニューアルしました。

## 業務支援

### 便利ツール

- 人事情報
- 幹部一覧表（九州・本省）

- 職員録
- 職員録（港湾空港関連）
- 座席表（九州・本省）
- 座席表（事務所） **New!**

- メールアドレス
- メールアドレス
- マイクログ
- 回線不連携

## 防災情報

- 防災担当者メニュー
- 九州防災ポータルサイト

- 過去の災害対応
- 防災情報振示板**

- 映像情報
- 統一河川

## 公報・広報

- 公報
- 国土交通、コミュニケーション

- 広報委員会からのお知らせ
- 職員九州

- HOT NEWS
- 九州地方整備局

## 技術情報

- i-Construction
- 出張所長・建設監督官関連

- KYUTIS
- KYUTIS（内部・外部）

- 事故防止
- スキルアップ

## システム運用支援

- 人事異動等の設定
- セキュリティポリシー

- ウイルス対策
- ユーザサポート

The screenshot shows the KYUTIS website interface. At the top, the header includes the KYUTIS logo and navigation links for Home, New Technology Portal Site, New Technology Application, and DX. The main content area is divided into two columns. The left column contains a sidebar with links to New Technology Portal Site, New Technology Application, and New Technology Research. The right column contains the New Technology Portal Site content, which includes a list of links: New Technology Application, Evaluation, Insurance, and Others. A red box highlights the 'New Technology Application' link in the sidebar and the 'Investigation, etc.' link in the main content area. Red arrows indicate the navigation path from the Home link to the New Technology Portal Site, then to the New Technology Application link, and finally to the Investigation, etc. link.

九州技術事務所  
技術情報検索システム

ホーム > 新技術ポータルサイト > 新技術活用 > 調査表等

新技術ポータルサイト

新技術活用

調査表等

事務所支援

工法抽出

工事区分別技術検索

お役立ち情報室

評価

登録

その他

新技術ポータルサイト

新技術活用

調査表等

事務所支援

工法抽出

工事区分別技術検索

お役立ち情報室

ページの前へ戻る

KYUTIS 九州技術事務所  
〒830-8570 福岡県久留米市南野1丁目3番1号  
電話：0942-32-8245（代表）  
FAX：0942-32-8295

サイトマップ > インタラトップ > 九州技術事務所HP

© KYUTIS 九州技術事務所 All Rights Reserved



九州技術事務所  
技術情報検索システム

人文字サイズ 印刷 大 検索

九州へ

トップページ

新技術関係

技術研究関係

防災関係

DX

● 新技術関係

- 新技術ポータルサイト
  - 新技術案内
  - 重点支援
- NETIS 新技術情報検索システム

● 技術研究関係

- 九州研究の成果報告
- 防災実践成果

● 防災関係

- 災害復旧支援活動

● 人材育成

- 研修・スキルアップ
- DX技術の推進・紹介

● 電子納品関係

- 電子納品・保管管理システム
- 電子品目照合の資料・マニュアル

● 九州技術情報有価

- 九州技術事務所事業概要
- 九州技術事務所 HOT NEWS



九州技術事務所 技術情報検索システム

1 Information

▶ 一覧表示

**NEW**

[R04/04/20] 技術研究開発成果を公開しました。〈国産の船舶は、地下海水圧の小規模地質〉

**NEW**

[R04/04/13] 1001の防災実践、新報が環境で学ぶ Part 9 〜はじめてのふたつ〜 (はるかに世界) 展覧会〜

**NEW**

[R04/04/13] 技術活用・人材育成 令和4年4月1日よりNETIS活用計画書、実施報告書および活用効果調査表の作成方法が変更になりました。

▶ [R04/03/29] 1001の技術研究開発の取り組みページを更新しました

▶ [R04/02/24] 1001の防災実践、新報が環境で学ぶ Part 9 〜はじめてのふたつ〜 (はるかに世界) 展覧会〜

▶ [R04/01/07] 1001の防災実践、新報が環境で学ぶ Part 9 〜はじめてのふたつ〜 (はるかに世界) 展覧会〜

▶ [R04/01/05] 1001の防災実践、新報が環境で学ぶ Part 9 〜はじめてのふたつ〜 (はるかに世界) 展覧会〜

活用計画書・報告書・活用効果調査票の作成

- 作成方法  
令和4年4月1日から作成方法を変更致します。  
今後は、NETIS（新技術情報提供システム）で入力・登録を行うことができ、各担当者はオンライン上で内容を確認出来ます。  
（移行スケジュール等）→[活用効果調査オンライン作成・提出の簡化方法](#)
- ※令和4年4月1日以前に計画書を提出済みである場合も、令和4年8月1日以降に新技術が完了し、活用効果調査表を作成する場合は、新システムによる再登録が必要です。
- 作成システム → [「NETIS（新技術情報提供システム）」](#) ※外部リンク  
■「成果マニュアル」→ [操作マニュアル](#) / [施工活用](#) / [発注者（監督者）用※部外様](#)
- [新技術活用計画書・実施報告書の書き方について](#)（計画書作成段階で施工概要→作業環境について記載してください。（九地監版））
- 活用効果調査表のコメント事例集（※令和3年3月1日現在）  
Ⅰ： [『調査項目の効果調査が「1」～「5」のコメント事例](#)  
Ⅱ： [『調査項目の効果を』を特に重視すべき具体的な事例](#)  
Ⅲ： [『調査項目の効果調査が「該当技術に関連しない」のコメント事例](#)  
Ⅳ： [『今後、該当技術を活用できる工事の場合に活用しました。』の理由事例](#)

関連事項

- 新技術の諸負工事成績評定要領の運用等 (※リンク/イントラ企画部・施工企画課)

国土交通省 九州地方整備局  
九州技術事務所  
(九州防災・火山技術センター)

文字サイズ 小 中 大 サイトマップ  
サイト内検索 検索

HOME 防災技術 建設技術 人材育成

ホーム 建設技術 新技術情報/NETIS (新技術ポータルサイト) 活用 (活用計画書・報告書および活用効果調査表)

**新技術情報/NETIS (新技術ポータルサイト)**

- お知らせ
- 基本事項 (NETISシステム・実施要領等)
- お役立ち情報室
- 九州で登録した新技術
- 工法抽出
- その他
- NETIS登録のICT関連技術一覧
- モデル施工 (除染技術) の実施
- 活用 (活用計画書・報告書および活用効果調査表)**
- NETISへの登録申請 (申請様式等)
- 技術開発相談窓口のご案内
- 技術開発・調査
- 産学官の連携
- 地域連携・支援

**九州防災・火山技術センター**

**新技術情報/NETIS**

**NETISへの登録申請**

**入札・契約情報**

**施設見学 (休止中)**

**活用 (活用計画書・報告書および活用効果調査表)**

**調査表等**

※令和4年4月1日から作成方法が変更になりました。

新システムでは入力・登録を行うことができ、各担当がオンライン上で内容を確認できます。  
(移行スケジュール等) → [活用効果調査オンライン作成・提出の周知パンフレット](#)

【作成サイト】

◆作成システム [《NETIS \(新技術情報提供システム\)》](#) (※外部リンク)

【マニュアル】※作業時にはマニュアルをご参考下さい。

◆マニュアル → [操作マニュアル](#) / [施工者用](#)

※令和4年4月1日以前に計画書を提出済みである場合も、令和4年8月1日以降に新技術が完了し、活用効果調査表を作成する場合は、新システムによる再登録が必要です。

◆調査表等の作成

※下記に掲載している「計画書・調査表」のイメージ画は旧エクセル版の様式となっています。  
「計画書・調査表」の記載事項については基本的に変更がありませんので、「計画書・調査表」の作成にあたっては、現在のWEB版での画面に読み替えて本資料をご覧ください。

【参考】作成に当たっては下記作成例をご参考ください。

- 新技術活用計画書・実施報告書の書き方について
- 新技術活用調査表のコメント事例集 (令和3年3月1日時点)

I : 『調査項目の効果調査が「1」～「5」』のコメント事例  
II : 『調査項目のコメント』を特に重視すべき具体的な事例  
III : 『調査項目の効果調査が「当該技術に関連しない」』のコメント事例  
IV : 『今後、該当技術を活用できる工事の場合に活用しますか。』の理由事例

◆3月末以前の旧システムで作成した調査表 (Zipファイル) の提出は下記フローのとおりです。  
[新技術活用計画書・実施報告書及び活用効果調査表の提出フロー](#)

・九州技術事務所ホームページ  
(<http://www.qsr.mlit.go.jp/kyugi/index.html>)



・新技術情報／NETIS



・活用 (活用計画書・報告書  
および活用効果調査表)



・施工者用マニュアル  
・コメント事例集